

令和8年度 府立北嵯峨高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）【計画段階】

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>「独創質実（何事も自ら考え、主体的に判断し、真摯な態度と素直なところで行動する。）」の校是の下、高校生活の限られた時間の中、集中力と工夫により学習と部活動の両立を実践し、「人を育て、心を育む」教育を目指す。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 規律ある生活により、学力・体力・情操の向上を図る。 2 科学的認識を養い、創造性と実践力を育てる。 3 保護者・地域との連携を深め、生徒の進路についての願いを実現することに努める。 4 地域の歴史と文化遺産に対する理解を深め、その文化を守り育てる力を養う。 	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ICTを活用した学習や探究的な学習に取り組み、主体的・協働的で深い学びが促進された。 (2) 生徒会活動や部活動・学校行事に積極的に参加し、社会性を育むことができた。 (3) キャリア教育講演会や高大連携、進路別説明会など多様な機会を設け、生徒の視野を広げる取組を実施し成果をあげた。 (4) 3年間を見通した計画に基づき、多様なテーマの人権学習に取り組んだ。 (5) 特別支援コーディネーターの配置やTeamsを活用した情報共有など、連携の基盤が強化された。 (6) 読書週間、ピブリオバトル、図書委員会の企画などにより、生徒の読書意欲向上を図った。 (7) HPや公式SNS、学年通信などによる積極的な情報発信により、学校の魅力を伝え、一定の効果が見られた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 効果的なICTの活用および整備されつつあるDX環境の有効活用についてさらに研究をすすめる。 (2) 校則や生活習慣の指導において、教職員間の共通理解や指導方針の統一を図る。 (3) 模試分析や面談等の個別指導を丁寧に行い、学校全体で生徒の第一志望実現に向けた支援体制をより強化する。 (4) 学力向上に向けた講習・補習の在り方について引き続き検討する。 (5) 私物の管理や施設・設備の丁寧な扱いなど、主体的に学習環境を整える姿勢の定着を図る。 (6) 生徒および教職員の危機管理能力と意識を高められるような取組を実施する。 (7) 自然災害の増加を踏まえ実効性のある訓練とマニュアルの検証を重ねる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の充実と教育DXの推進 教職員と生徒がともに授業をつくる意識のもと、生徒が主体的に学び、学習内容を身につけようとする授業を研究し推進する。また、授業において教育DXにむけて整備したICT機器の効果的な活用を進める。 2 部活動、特別活動の充実と発展 生徒の豊かな人間性の育成及び教職員と生徒との多様な関係づくりの場として、部活動や特別活動が果たす役割を大切にし、生徒が互いを気遣いながらも切磋琢磨して「強い北嵯峨」を目指す活動を支援する。 3 人間関係構築力の育成と個に応じた対応 生徒が集団の中で良好な人間関係を構築できるようになるために、教職員が協調して生徒理解に努め、生徒に自己決定の場を与えながら自ら世界を広げようと挑戦する意欲を育成する。 4 嵯峨・嵐山の教育資源の積極的な活用 歴史と伝統を身近に感じる恵まれた学習環境の中で、校内にとどまらず周辺の自然や文化財、教育施設などの教育資源を積極的に活用して、地域の協力と理解のもとで魅力ある教育活動を展開する。 5 次期学習指導要領を見すえた教育課程の検討 半世紀の時間をかけて醸成されてきた本校の校風をふまえたスクール・ミッションの実現を図るとともに、次期学習指導要領を見すえた新しい教育課程と総合的な探究の時間を含めた特長ある教育のあり方について検討する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
学習指導	<p>知識・技能を活用した課題解決力の育成と、他者と協働する学びの充実を図る。</p> <p>新たに導入するデジタル採点ソフトを全教員の50%以上が活用することで、採点・評価業務の効率化と分析の高度化を図り、生徒一人ひとりに応じた指導の充実につなげる体制を確立する。</p>	<p>学んだ知識や技能を実際の課題に応用できるように、具体的な問いやテーマを設定し、課題解決に取り組ませる。さらに、他者の視点と自己の考えを比較・吟味する活動を通して、思考を深める授業を展開する。</p> <p>新デジタル採点ソフトの操作方法や活用事例を示す研修を実施し、教員間で使用状況や成果を定期的に共有する仕組みを整備する。また、使用状況や成果を振り返り、課題や改善点を整理し、指導方法や評価の工夫に反映させる。</p>		
生徒指導 特別活動	<p>ルールの意味を理解し、自ら判断して行動できる生徒を育成していく。</p> <p>他者とつながり、支え合える集団づくりを推進していく。</p> <p>全教職員で関わる「つながる生徒指導」を確立させていく。</p> <p>主体的・協働的な活動を通して、集団の一員としての自覚を高め、よりよい人間関係と社会性を育成するとともに、規範意識や責任感を養い、自己実現に向けて主体的に行動する態度を育てる。</p>	<p>基本的生活習慣（挨拶・時間・服装）の定着率向上。特に遅刻指導件数を1%未満になるように啓発・指導する。携帯電話等のトラブルの未然防止に努める。</p> <p>問題行動の未然防止に向けた早期発見・早期対応を徹底させる。</p> <p>情報共有を強化し、生徒理解を基盤とした組織的指導体制の確立。</p> <p>生徒会行事や委員会活動において、生徒の自主的な企画・運営を尊重する。</p> <p>文化祭や体育祭などの学校行事において企画段階から生徒が参画し、役割分担を明確にして責任ある活動を行わせる。</p>		

進路指導	生徒一人一人の希望進路の実現に向けて、教職員が一体となり進路指導を行う体制を構築する。3か年を見据えた取り組みを充実させ、生徒のキャリア意識の形成と自己実現を図る。	生徒の学力状況・学習状況・進路希望をデータに基づいて客観的に分析し、自学自習の確立とともに、学力の向上と進路目標達成のための情報提供や指導体制を整える。		
		キャリア教育を充実させ、校内外の連携のもとで生徒の進路意識の向上を図りながら、適性と希望に沿った生徒の可能性を広げる進路の達成に努める。第3学年においては、4月当初の進路希望調査において、進路希望未定者を0に近づける。		
人権教育	互いの個性や価値観の違いを認め、自己を尊重し、他者を尊重するなどの豊かな感性と、すべての人の基本的人権を尊重する心を育むとともに、人権問題に気づき、主体的に考え、解決する態度を育成する。	全学年で年間6回以上の人権学習を計画的に実施し、90%以上の生徒が「他者理解や自己尊重の意識が高まった」と実感できることを目標とする。		
健康・安全 教育	健康の維持増進や安全について自己管理ができるように促す。	健康診断の結果を基本的な生活習慣の確立への指導に繋げ、主体的に自己の健康を管理・実践する力を養う。再受診に伴う受診報告書提出率100%を目指し、担任・保護者と連携を取る。		
	教育相談を充実させ、支援を要する生徒への組織的な対応の推進を図る。	日常の生徒観察を重視し、担任や教科担当者との連携を行い情報共有をすることにより生徒の状況を早期に把握する。様々な課題を抱える生徒については、関係機関・SC・SSWと連携し発達段階に応じて教育的・心理的な支援を行い、相談しやすい体制づくりに努めていく。		
図書館指導	図書館を活用した指導を充実させ、生徒にとって居心地がよく、新しい時代に適応した図書館を目指す。	各教科の授業や総合的な探究の時間等を通して、生徒が図書に触れる機会を増やす。学校行事等を通して、生徒が日常的に読書活動を行うように促す。学校評価アンケート「北嵯峨高校の図書館は利用しやすい」の肯定的回答80%以上。		
安全管理 情報・文書	情報セキュリティ意識の向上	教職員対象の情報セキュリティ関係の研修を年1回以上実施し、理解度確認テストの正答率90%以上とする。		
	文書管理の適正化	文書管理研修を年1回実施する。		
家庭・地域 社会との 連携	広報活動の一層の充実を目指し、迅速できめ細やかな情報提供を図る。	ホームページや公式Instagramの更新を積極的に行い、行事だけでなく日常の様子についても発信する。特に、teams等を活用し、幅広い情報収集に努め、Instagramについては1週間に5回発信を目標とし、学校評価アンケート「ホームページやスタディサプリを活用した学校からのお知らせ・連絡は有用である」の肯定的回答90%以上を目指す。学校説明会等の情報発信を通して、中学校との連携もさらに深める。		
	地域の資源や文化的歴史的価値への理解を深め、保護者や地域に信頼される学校づくりに努める。	地域の資源や文化的歴史的価値を活用した教育を推進する。地域の人々とふれあい、社会とつながる経験を通して広い視野と主体的な社会参画意識を持てるよう努める。特に探究活動等のフィールドワークの発信やPTA主催の交通安全指導の報告等を通して地域資源の魅力の発信と地域の人々への感謝を示す。		

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--